

総務企画常任委員会活動報告

当委員会は、11月1、2日の2日間にわたり、静岡県伊豆の国市及び神奈川県平塚市の行政視察を行いました。

伊豆の国市では、し尿処理施設が令和4年3月に竣工し、し尿や浄化槽汚泥を下水道放流方式で処理しています。本市管内においては、南那須地区広域行政事務組合でし尿や浄化槽汚泥を処理していますが、建物の老朽化により新たに建設する計画を立てています。本市の下水道は、当初の処理計画を大幅に縮小して運営しており、処理能力に余力があります。下水道につながるためには前処理施設等を建設する必要がありますが、今あるものを利用し新たな下水処理施設を建設しないという方法も、大きな選択肢の一つではないかと考えております。

平塚市では、大規模地震による被害が想定されており、市民への防災知識の普及を図る目的で総合防災訓練が行われています。本市とは比較にならないほど大都市でしたが、学校や消防、警察等の公的機関のほか、市民団体や地元企業等、計56団体約3000人が参加した市民協働による総合防災訓練の話を伺い、市民一人ひとりの防災意識の高さや、効果的な連携体制を構築する大切さを感じました。本市でも令和元年東日本台風により甚大な被害を受けたばかりであり、日頃から危機感を持ち防災意識を高めていくことはとても重要だと感じました。

総務企画常任委員会 委員長 滝口貴史



新し尿処理施設の説明を受ける委員（静岡県伊豆の国市）